

番号	7
著者	Sibak M, Moussa I, El-Tantawy N, Badr S, Chaudhri I, Allam E, Baxter L, Abo Freikha S, Hoestlandt C, Lara C, Hajjeh R, Munier A.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of the introduction of the pneumococcal conjugate vaccine (PCV-13) in the Egyptian national immunization program, 2013.
発表年	2015
分析国	Egypt
分析対象	PCV13(3+0)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	1歳未満
分析モデル	TRIVAC model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、DALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	\$3,916/DALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	

番号	8
著者	Mezones-Holguin E, Canelo-Aybar G, Clark AD, Janusz CB, Jaéregui B, Escobedo-Palza S, Hernandez AV, Vega-Porras D, González M, Fiestas F, Toledo W, Michel F, Suárez VJ.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of 10- and 13-valent pneumococcal conjugate vaccines in Peru.
発表年	2015
分析国	Peru
分析対象	PCV13(2+1)
比較対照	PCV10(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	TRIVAC model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの取集方法	-
効果指標	イベント数、DALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、敗血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)\$1,605/DALY 2)\$1,304/DALY 3)\$519/DALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PCV10対ワクチン接種なし 2)PCV13対ワクチン接種なし 3)PCV13対PCV10

番号	9
著者	Kieninger MP, Caballero EG, Sosa AA, Amarilla CT, Jáuregui B, Janusz CB, Clark AD, Castellanos RM.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of pneumococcal conjugate vaccine introduction in Paraguay.
発表年	2015
分析国	Paraguay
分析対象	-PCV13(2+1) -PCV10(2+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	TRIVAC model
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、DALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、IPD(肺炎、髄膜炎以外)
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	1)\$3,851/DALY 2)\$1,920/DALY 3)\$4,901/DALY 4)\$3,657/DALY 5)\$12,181/DALY 6)\$15,593/DALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PCV10対ワクチン接種なし、政府の立場 2)PCV10対ワクチン接種なし、社会の立場 3)PCV13対ワクチン接種なし、政府の立場 4)PCV13対ワクチン接種なし、社会の立場 5)PCV13対PCV10、政府の立場 6)PCV13対PCV10、社会の立場

番号	10
著者	Wu DB, Lee KK, Roberts C, Lee VW, Hong LW, Tan KK, Mak V.
雑誌名	Hum Vaccin Immunother.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of infant universal routine pneumococcal vaccination in Malaysia and Hong Kong.
発表年	2015
分析国	Malaysia, Hong Kong
分析対象	-PCV13(3+1) -PCV10(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	通院による欠勤
生産性損失データの収集方法	文献値、半日欠勤(仮定)、時給(公的データ)
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	1)\$6,389/QALY; \$5,949/LY 2)\$21,438/QALY; \$20,206/LY 3)優位 4)優位 5)\$46,832/QALY; \$85,729/LY 6)優位
結果(生産性損失あり)	1)\$4,883/QALY; \$4,547/LY 2)\$20,667/QALY; \$19,480/LY 3)優位 4)優位 5)\$40,923/QALY; \$74,913/LY 6)優位
備考	1)マレーシア、PCV13対ワクチン接種なし 2)マレーシア、PCV10対ワクチン接種なし 3)マレーシア、PCV13対PCV10 4)香港、PCV13対ワクチン接種なし 5)香港、PCV10対ワクチン接種なし 6)香港、PCV13対PCV10

番号	11
著者	Shiragami M, Mizukami A, Leeuwenkamp O, Mrkvan T, Delgleize E, Kurono Y, Iwata S.
雑誌名	Infect Dis Ther.
タイトル	Cost-Effectiveness Evaluation of the 10-Valent Pneumococcal Non-typeable Haemophilus influenzae Protein D Conjugate Vaccine and 13-Valent Pneumococcal Vaccine in Japanese Children.
発表年	2014
分析国	日本
分析対象	PHiD-CV(3+1)
比較対照	PCV13(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	欠勤日数(時間)、平均賃金から推計
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	優位
結果(生産性損失あり)	優位
備考	

番号	12
著者	Mezones-Holguín E, Bolaños-Díaz R, Fiestas V, Sanabria C, Gutiérrez-Aguado A, Fiestas F, Suárez VJ, Rodríguez-Morales AJ, Hernández AV.
雑誌名	J Infect Dev Ctries.
タイトル	Cost-effectiveness analysis of pneumococcal conjugate vaccines in preventing pneumonia in Peruvian children.
発表年	2014
分析国	Peru
分析対象	・PCV13(2+1) ・PCV10(2+1)
比較対照	・PCV7(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	不明
生産性損失データの収集方法	公式データ(MINSA)
効果指標	入院回避
割引率	3%
対象イベント	肺炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	0
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	0
分析期間	3年
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)優位 2)\$13/入院回避
備考	1)PCV10対PCV7 2)PCV13対PCV10 間接費用の考慮有(詳細不明)

番号	13
著者	Vemer P, Postma MJ.
雑誌名	Hum Vaccin Immunother.
タイトル	A few years later. Update of the cost-effectiveness of infant pneumococcal vaccination in Dutch children.
発表年	2014
分析国	Netherlands
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	PCV10(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	1歳未満
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	費用4%、効果1.5%
対象イベント	肺炎、IPD、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	1)€670,000/QALY 2)€14,500/QALY 3)€12,700/QALY 4)€17,200/QALY 5)€17,400/QALY 6)€24,600/QALY 7)€124,000/QALY 8)€11,900/QALY 9)€16,000/QALY 10)€5,800/QALY 11)€14,500/QALY 12)€13,200/QALY 13)€4,700/QALY 14)€25,500/QALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)疫学データ2011-2012、直接効果のみ、IPDのみ 2)疫学データ2011-2012、直接効果・間接効果、IPDのみ 3)疫学データ2011-2012、直接効果・間接効果、IPD+非侵襲性疾患 4)疫学データ2006-2011、直接効果・間接効果、IPD+非侵襲性疾患 5)IPDおよび肺炎に対するPCV10の効果(FINIP) 6)NTHiに対するPCV10の効果(COMPAS) 7)NTHiに対するPCV10の効果(POET) 8)血清型19Aに対するPCV10のクロスプロテクションなし 9)血清型19Aに対するPCV10のクロスプロテクション、集団免疫を含む 10)血清型3に対するPCV13の効果減少なし 11)血清型3に対するPCV13の集団免疫なし 12)肺炎に対する効果除外 13)集団免疫と血清型置換考慮あり(UKデータ) 14)間接効果減少(25%; UKデータ)

番号	14
著者	岡田 賢司, 岩田 敏, 尾内 一信, 細矢 光亮, 佐々木 津, 朝日 健太郎
雑誌名	小児科臨床
タイトル	小児用13価肺炎球菌結合型ワクチンの7価に対する費用効果分析
発表年	2013
分析国	日本
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	PCV7(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	・親の生産性損失 ・本人の死亡費用
生産性損失データの取集方法	欠勤日数(時間)、平均賃金から推計 死亡費用:累積労働賃金
効果指標	QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1) 優位 2) 優位
結果(生産性損失あり)	3) 優位 4) 優位
備考	1) IPDのみ考慮 2) IPD、肺炎、AOMを考慮 3) IPDのみ考慮 4) IPD、肺炎、AOMを考慮

番号	15
著者	Hoshi SL, Kondo M, Okubo I.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Economic evaluation of vaccination programme of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine to the birth cohort in Japan.
発表年	2013
分析国	日本
分析対象	・PCV13(3+1) ・PCV7(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの取集方法	欠勤時間、平均賃金から計算
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症(敗血症含む)、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	1) 6,352,110円/QALY; 23,512,220円/LY 2) 9,034,940円/QALY; 29,476,620円/LY 3) 37,722,901円/QALY; 54,261,241円/LY 4) 6,352,110円/QALY; 23,512,220円/LY 5) 4,368,278円/QALY; 19,457,218円/LY 6) 343,830円/QALY; 2,606,959円/LY
結果(生産性損失あり)	7) 1,588,575円/QALY; 5,880,083円/LY 8) 4,495,903円/QALY; 14,667,948円/LY 9) 35,584,455円/QALY; 51,185,265円/LY 10) 1,588,575円/QALY; 5,880,083円/LY 11) 優位 12) 優位
備考	1、7)PCV7対ワクチン接種なし、AOMIに対するPCV13のVEはPCV7と同等 2、8)PCV13対ワクチン接種なし、AOMIに対するPCV13のVEはPCV7と同等 3、9)PCV13対PCV7、AOMIに対するPCV13のVEはPCV7と同等 4、10)PCV7対ワクチン接種なし、AOMIに対するPCV13のVEはPCV13のセロタイプに準ずる 5、11)PCV13対ワクチン接種なし、AOMIに対するPCV13のVEはPCV13のセロタイプに準ずる 6、12)PCV13対PCV7、AOMIに対するPCV13のVEはPCV13のセロタイプに準ずる

番号	16
著者	Gomez JA, Tirado JC, Navarro Rojas AA, Castrejon Alba MM, Topachevskiy O.
雑誌名	BMC Public Health.
タイトル	Cost-effectiveness and cost utility analysis of three pneumococcal conjugate vaccines in children of Peru.
発表年	2013
分析国	Peru
分析対象	<ul style="list-style-type: none"> ・PHiD-CV(2+1) ・PCV7(2+1) ・PCV13(2+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	就業率、平均給与、欠勤時間から推計
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3.5%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1) \$6,014/QALY; \$5,582/LY 2) \$5,327/QALY; \$4,293/LY 3) \$4,500/QALY; \$5,004/LY 4) 劣位; \$170,391/LY 5) 優位; 優位
結果(生産性損失あり)	-
備考	1) PCV7対ワクチン接種なし 2) PCV13対ワクチン接種なし 3) PHiD-Cv対ワクチン接種なし 4) PCV13対PCV7 5) PHiD-CV対PCV7

番号	17
著者	Ayieko P, Griffiths UK, Ndiritu M, Moisi J, Mugoya IK, Kamau T, English M, Scott JA.
雑誌名	PLoS One.
タイトル	Assessment of health benefits and cost-effectiveness of 10-valent and 13-valent pneumococcal conjugate vaccination in Kenyan children.
発表年	2013
分析国	Kenya
分析対象	・PCV13(3+0) ・PCV10(3+0)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	静的モデル(詳細不明)
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	介護時間 家計からの出費
効果指標	イベント数、DALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、敗血症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	0
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	1)\$59/DALY 2)\$47/DALY 3)\$32/DALY 4)\$25/DALY
結果(生産性損失あり)	-
備考	bacteremic/nonbacteremic pneumoniaの考慮あり 1)PCV10対ワクチン接種なし、集団免疫考慮なし 2)PCV13対ワクチン接種なし、集団免疫考慮なし 3)PCV10対ワクチン接種なし、集団免疫考慮あり 4)PCV13対ワクチン接種なし、集団免疫考慮あり

番号	18
著者	McGarry LJ, Gilmore KE, Rubin JL, Klugman KP, Strutton DR, Weinstein MC.
雑誌名	BMC Infect Dis.
タイトル	Impact of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine (PCV13) in a pandemic similar to the 2009 H1N1 in the United States.
発表年	2013
分析国	US
分析対象	PCV13
比較対照	PCV7
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	1歳未満
分析モデル	意思決定モデル (詳細不明)
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	0
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)優位 2)\$4,300/QALY 3)\$66,800/QALY 4)優位 5)優位 6)優位 7)\$37,100/QALY 8)優位
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)通常のインフルエンザシーズン、IPDと肺炎に対する間接効果考慮 2)通常のインフルエンザシーズン、IPDに対する間接効果のみ考慮 3)通常のインフルエンザシーズン、間接効果考慮なし 4)通常のインフルエンザシーズン、細菌性重感染有病率を半分と仮定 5)パンデミック(2009-2010 H1N1と同様)、IPDと肺炎に対する間接効果考慮 6)パンデミック(2009-2010 H1N1と同様)、IPDに対する間接効果のみ考慮 7)パンデミック(2009-2010 H1N1と同様)、間接効果考慮なし 8)パンデミック(2009-2010 H1N1と同様)、細菌性重感染有病率を半分と仮定

番号	19
著者	Kulpeng W, Leelahavarong P, Rattanavipapong W, Sornsrivichai V, Baggett HC, Meeyai A, Punpanich W, Teerawattananon Y.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-utility analysis of 10- and 13-valent pneumococcal conjugate vaccines: protection at what price in the Thai context?
発表年	2013
分析国	Thailand
分析対象	・PCV13(2+1) ・PCV13(3+1) ・PCV10(2+1) ・PCV10(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親および介護者の介護
生産性損失データの収集方法	アンケート(介護時間)
効果指標	イベント数、QALY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)519,399 THB/QALY 2)650,087 THB/QALY 3)1,368,072 THB/QALY 4)1,677,379 THB/QALY 5)527,378 THB/QALY 6)660,662 THB/QALY 7)1,490,305 THB/QALY 8)1,830,716 THB/QALY
備考	1)PCV10 対 ワクチン接種なし、2+1スケジュール、間接効果考慮 2)PCV10 対 ワクチン接種なし、3+1スケジュール、間接効果考慮 3)PCV10 対 ワクチン接種なし、2+1スケジュール、間接効果考慮なし 4)PCV10 対 ワクチン接種なし、3+1スケジュール、間接効果考慮なし 5)PCV13 対 ワクチン接種なし、2+1スケジュール、間接効果考慮 6)PCV13 対 ワクチン接種なし、3+1スケジュール、間接効果考慮 7)PCV13 対 ワクチン接種なし、2+1スケジュール、間接効果考慮なし 8)PCV13 対 ワクチン接種なし、3+1スケジュール、間接効果考慮なし

番号	20
著者	Türel O, Kisa A, McIntosh ED, Bakir M.
雑誌名	Value Health.
タイトル	Potential cost-effectiveness of pneumococcal conjugate vaccine (PCV) in Turkey.
発表年	2013
分析国	Turkey
分析対象	<ul style="list-style-type: none"> ・PCV13(3+1) ・PCV7(3+1) ・PCV10(3+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	コホートモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	5年
結果(生産性損失なし)	<ul style="list-style-type: none"> 1)\$7,109/LYG 2)\$6,784/LYG 3)\$6,696/LYG
結果(生産性損失あり)	-
備考	<ul style="list-style-type: none"> 1)PCV7 対 ワクチン接種なし 2)PCV10 対 ワクチン接種なし 3)PCV13 対 ワクチン接種なし

番号	21
著者	Stoecker C, Hampton LM, Link-Gelles R, Messonnier ML, Zhou F, Moore MR.
雑誌名	Pediatrics.
タイトル	Cost-effectiveness of using 2 vs 3 primary doses of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine.
発表年	2013
分析国	US
分析対象	PCV13(2+1)
比較対照	PCV13(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2歳未満
分析モデル	モンテカルロシミュレーション
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	平均日給、入院日数より推計
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	10年
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)\$300,000/QALY、\$6,014,000/LY 2)\$143,000/QALY、\$6,014,000/LY 3)\$3,919,000/QALY、\$6,886,000/LY 4)\$446,000/QALY、優位/LY 5)優位
備考	1)基本分析(中耳炎のQALY=0.005、カバー率83.3%、2+1の中耳炎に対する効果はなし) 2)中耳炎のQALY=0.011 3)2+1の中耳炎に対する保護は3+1と同等 4)カバー率86% 5)カバー率93%

番号	22
著者	Klok RM, Lindkvist RM, Ekelund M, Farkouh RA, Strutton DR.
雑誌名	Clin Ther.
タイトル	Cost-effectiveness of a 10- versus 13-valent pneumococcal conjugate vaccine in Denmark and Sweden.
発表年	2013
分析国	Denmark, Sweden
分析対象	PCV13(2+1)
比較対照	PCV10(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2才未満
分析モデル	ディシジョンツリー
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)優位、優位 2)優位、優位 3)優位、優位 4)優位、優位 5)優位、優位 6)優位、優位 7)優位、優位 8)優位、優位 9)優位、優位 10)優位、優位 11)優位、優位 12)優位、優位 13)優位、優位 14)優位、優位
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)デンマーク、基本分析 2)スウェーデン、基本分析 3)デンマーク、シナリオ1(間接効果外挿) 4)スウェーデン、シナリオ1(間接効果外挿) 5)デンマーク、シナリオ2(NTHi中耳炎に対する効果) 6)スウェーデン、シナリオ2(NTHi中耳炎に対する効果) 7)デンマーク、シナリオ3(PCV10の直接効果を免疫原性に対して調整) 8)スウェーデン、シナリオ3(PCV10の直接効果を免疫原性に対して調整) 9)デンマーク、シナリオ4(肺炎に対する効果なし) 10)スウェーデン、シナリオ4(肺炎に対する効果なし) 11)デンマーク、シナリオ5(prePCV7疫学データ使用) 12)スウェーデン、シナリオ5(prePCV7疫学データ使用) 13)デンマーク、シナリオ6(間接効果外挿+prePCV7疫学データ使用) 14)スウェーデン、シナリオ6(間接効果外挿+prePCV7疫学データ使用)

番号	23
著者	Knerer G, Ismaila A, Pearce D.
雑誌名	J Med Econ.
タイトル	Health and economic impact of PHID-CV in Canada and the UK: a Markov modelling exercise.
発表年	2012
分析国	Canada, UK
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	PHID-CV(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	2才未満
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの収集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	Canada: 3% UK: 3.5%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎、非肺炎球菌性感染症
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	1)劣位
結果(生産性損失あり)	-
備考	

番号	24
著者	By A, Sobocki P, Forsgren A, Silfverdal SA.
雑誌名	Clin Ther.
タイトル	Comparing health outcomes and costs of general vaccination with pneumococcal conjugate vaccines in Sweden: a Markov model.
発表年	2012
分析国	Sweden
分析対象	PHiD-CV(2+1)
比較対照	PCV13(2+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護、罹患による欠勤
生産性損失データの収集方法	欠勤時間、平均時給、欠勤日数は疾患による入院日数と同等と仮定
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、菌血症、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)費用削減的
備考	

番号	25
著者	Castañeda-Orjuela C, Alvis-Guzmán N, Velandia-González M, De la Hoz-Restrepo F.
雑誌名	Vaccine.
タイトル	Cost-effectiveness of pneumococcal conjugate vaccines of 7, 10, and 13 valences in Colombian children.
発表年	2012
分析国	Colombia
分析対象	-PCV7(2+1) -PCV13(2+1) -PCV10(2+1)
比較対照	ワクチン接種なし
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	マルコフモデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	1
生産性損失の種類	親の介護
生産性損失データの収集方法	文献値
効果指標	イベント数、Years of Life Lost (YLL)
割引率	3%
対象イベント	肺炎、髄膜炎、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	0
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	0
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
中耳炎	1
分析期間	生涯
結果(生産性損失なし)	-
結果(生産性損失あり)	1)\$1,837/LYY 2)費用削減的 3)\$9,516/LYY
備考	1)PCV10対ワクチン接種なし 2)PCV7対PCV13 3)PCV13対PCV10

番号	26
著者	Strutton DR, Farkouh RA, Earnshaw SR, Hwang S, Theidel U, Kontodimas S, Klok R, Papanicolaou S.
雑誌名	J Infect.
タイトル	Cost-effectiveness of 13-valent pneumococcal conjugate vaccine: Germany, Greece, and The Netherlands.
発表年	2012
分析国	Germany, Greece, Netherlands
分析対象	PCV13(3+1)
比較対照	・PCV7(3+1) ・PCV10(3+1)
1:小児/2:成人	1
分析対象集団 (接種対象)	0歳児
分析モデル	エクセルを用いた決定解析モデル
生産性損失考慮 1:あり/0:なし	0
生産性損失の種類	-
生産性損失データの取集方法	-
効果指標	イベント数、QALY、LY
割引率	効果のみ ・ドイツ5% ・ギリシャ3% ・オランダ1.5%
対象イベント	肺炎、IPD、中耳炎
肺炎有無 (1:肺炎考慮あり、0:肺炎考慮なし)	1
肺炎球菌性肺炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	0
髄膜炎有無 (1:髄膜炎考慮あり、0:髄膜炎考慮なし)	1
肺炎球菌性髄膜炎 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
菌血症有無 (1:菌血症考慮あり、0:菌血症考慮なし)	1
肺炎球菌性菌血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
敗血症有無 (1:敗血症考慮あり、0:敗血症考慮なし)	1
肺炎球菌性敗血症 (1:肺炎球菌性のみ、0:それ以外)	1
中耳炎	1
分析期間	1年
結果(生産性損失なし)	1)費用削減的 2)費用削減的
結果(生産性損失あり)	-
備考	1)PCV13対PCV7(3カ国ともに) 2)PCV13対PCV10(3カ国ともに)